



# ベアーズだより 最終号



2023. 3. 31

朝夕の寒暖差はありますが、日中は日差しが暖かく、戸外遊びが心地よい季節となりました。小さな草花を見つけると「見て、お花咲いてるよ」と保育者や友だちに見せたり、遊びの中に取り入れたりして、子どもたちも春の訪れを感じています。

この一年間、子どもたちの笑顔にパワーをもらい毎日楽しく過ごすことができました。子どもたちの成長する姿や自信を持って行動する姿に毎日驚かされていました。

至らない点もあり、ご迷惑やご心配をおかけしたこともあったかと思いますが、いつも温かく見守り、ご理解をくださいました保護者の皆様に心から感謝を申し上げます。

ありがとうございました。



## ひよこぐみ

入園した頃は保護者の方と離れると涙が出ることもありましたが、今では笑顔で登園することができるようになりました。ハイハイをしていた子どもたちも歩行が安定し、活発に動き回っています。自分で食べることができるようになり、手づかみやスプーンで意欲的に食べることができるようになりました。また、言葉も少しずつ増えてきて、友だちの名前を呼んだり、「先生、おいで」と保育者に自分のしてほしいことを伝えたりする姿もあり、やりとりする楽しさを味わう姿に成長を感じています。



## いすぐみ

春は、まだよちよち歩きだった子どもたち。今では、走ったり、ジャンプをしたりして活発に遊んでいます。おしゃべりも盛んになり、保育者や友だちの名前を呼んで遊ぶ子や、泣いている友だちに「大丈夫?」「どうしたの?」と心配そうに声をかけて頭を撫でたりする子など、親しみを持って関わろうとする姿も増えてきました。また、衣服の着脱やトイレで排泄することなどが少しずつできるようになりました。時間がかかっても「自分でやりたい」という気持ちを大切にしながら、できた喜びに共感することで次への意欲につながってほしいと思います。



## うさぎぐみ

毎日の生活を通して食事面や排泄面、衣服の着脱など身の回りのことが少しずつ上達し、自分でできるようになってきました。友だちとのやりとりが広がり、関わり合って遊んだり、時には、思いがぶつかってケンカになったりと、笑ったり泣いたりしながら友だちと一緒に過ごしました。また、年下の友だちと一緒に遊ぶことも喜び、優しく接する微笑ましい場面も見られ、少しずつお兄さん、お姉さんらしくなっていく姿に頼もしさを感じられるようになってきました。

4月からは、日吉津保育所での生活が始まります。初めは誰でも不安な思いを感じることもあると思いますが、笑顔で楽しく過ごせるようにと願っています。

